

熊本市 感染症発生動向調査 速報

●インフルエンザの患者数が「注意報レベル」になりました！！

感染症発生動向調査で、熊本市の第2週(1月9日～1月15日)の定点医療機関あたりの患者報告数は、11.04人(定点数25ヶ所、患者報告数276人)となり国の注意報レベルの定点あたり10人を超えました。今後とも感染予防に努めましょう。

◆予防法は？

- 1) 流行前のワクチン接種。
- 2) 飛沫感染対策としての咳エチケット。
 - ・ 普段から皆が咳エチケットを心がけ、咳やくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
 - ・ 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。とっさの咳やくしゃみの際にマスクがない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い、顔を他の人に向けないこと。
 - ・ 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと等飛沫感染対策ではマスクは重要です。特に感染者がマスクをする方が、感染の拡散を抑える効果は高いと言われています。
- 3) 適度な湿度の保持。外出後の手洗い等。
 - ・ 空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度(50～60%)を保つことも効果的です。
- 4) 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取。人混みや繁華街への外出を控える。



◆かかったらどうすればいいの？

- 1) 具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。
- 2) 安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。
- 3) 水分を十分に補給しましょう。お茶でもスープでも飲みたいもので結構です。



期 間		平成29年 第1週		平成29年 第2週	
		1/2～1/8		1/9～1/15	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		148	5.92	276	11.04
RSウイルス感染症		6	0.38	7	0.44
咽頭結膜熱(プール熱)		8	0.50	3	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		29	1.81	25	1.56
感染性胃腸炎		112	7.00	161	10.06
水痘(みずぼうそう)		20	1.25	11	0.69
手足口病		8	0.50	14	0.88
伝染性紅斑(りんご病)		1	0.06	0	0.00
突発性発しん		12	0.75	13	0.81
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		25	1.56	23	1.44
急性出血性結膜炎		1	0.20	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		11	2.20	19	3.80
細菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	3	0.60
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	2	0.40